

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公表番号】特表2013-518815(P2013-518815A)

【公表日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2013-026

【出願番号】特願2012-551221(P2012-551221)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/472 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

C 0 7 D 217/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/472

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/08

C 0 7 D 217/04 C S P

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月8日(2014.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

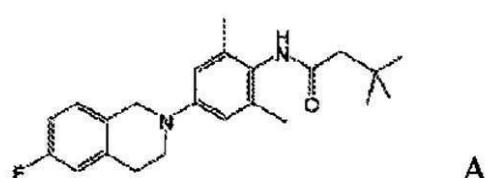
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者における、KCNQ2/3、KCNQ4、およびKCNQ5から選択される少なくとも1つのカリウムイオンチャネルの調節に影響される疾患、障害、または状態を治療または予防するための組成物であって、該組成物は、化合物A：

【化113】

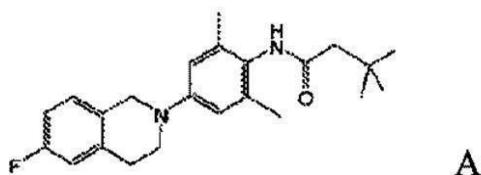


を含み、1日当たり約10mg～約2000mgの量の化合物Aが患者へ投与されること
を特徴とする、組成物。

【請求項2】

化合物A：

【化 1 1 4】



。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 3 2

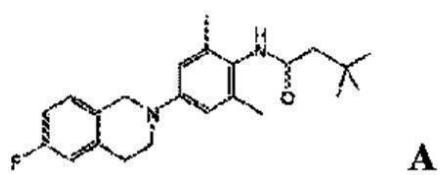
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 3 2】

別の実施形態において、本発明は、患者における、KCNQ2/3、KCNQ4、およびKCNQ5から選択される少なくとも1つのカリウムイオンチャネルの調節に影響される疾患、障害、または状態を治療または予防する方法であって、1日当たり約10mg～約2000mgの量での化合物A：

【化 3 2】



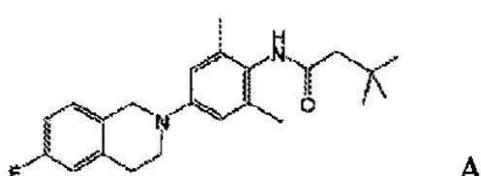
の、治療または予防を必要とする患者への投与を含む、方法を提供または考慮する。このような実施形態において、KCNQ1は、実質的に影響されない。

一実施形態において、例えば、以下の項目が提供される。

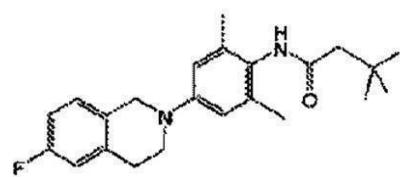
(項目1)

患者における、KCNQ2/3、KCNQ4、およびKCNQ5から選択される少なくとも1つのカリウムイオンチャネルの調節に影響される疾患、障害、または状態を治療または予防する方法であって、1日当たり約10mg～約2000mgの量で、化合物A：

【化 1 1 3】

を患者へ投与する工程を含む、方法。(項目2)化合物A：

【化 1 1 4】



A